



RE-CARE AWARD 2018

ヘルステック部門

銅賞

TANO

「TANO」はセンサーの前に立つだけで体の動きそのものがコントローラーとなり、運動・発声・脳活性化トレーニングが行える自立支援システムである。昨年度本システムに姿勢計測システムを同梱した商品を開発。測定後猫背などの課題が提示され、個人結果に適した改善運動を「TANO」から自動抽出する。この「姿勢計測結果に基づく自動ゲーム運動指導機能」を拡張し、将来的には自動指導方法の確立、運転適性検査などへの応用も目指す。

ケアピっと 高速姿勢測定システム



- ・体の歪みを視覚化、数値化、計測するシステム。
- ・リアルタイム、カウントダウン計測モードがある。
- ・計測結果に伴って、TANOのおすすめゲームが選択される。

TANO リハビリ・トレーニング



- ・センサーを利用し、「楽しみ、笑顔」を作るシステム。
- ・ニーズを元に開発を続け、80種類以上のコンテンツに成長している。
- ・台湾や中国、韓国、フィンランドでも連携が始まっている。

・シーズニーズ研究
研究開発・プログラミング教育・コンテンツ強化

文部科学省

経産省・厚生省・文科省合同研究開発参加型プラットフォーム

経済産業省

シーズ活用
健康経営・集客。
AI・IoT・コンソーシアム

厚生労働省

ニーズ検証
介護ロボット
介護・医療・雇用

サイバーデザインHALと連携事例

子供が高齢者を呼び一緒に楽しむ。

病院でのニーズ調査や評価

福祉施設でのニーズ調査や評価

TANOを使ったプログラミング教育

商業施設にて計測や健康イベント

(利用事例の一部)

- ・神戸ユニバーサルデザインフェアにてのイベント出展。
- ・慶應義塾大学Tonomachiリサーチコンプレックスにおけるケアビット出展。同・夏休みイベント出展。
- ・厚生省の夏休みこどもイベント出展。
- ・北里大学と相模原市のプログラミング教室出展。
- ・大阪府看護協会の看護の日フェアでの出展。
- ・福祉フェスティバルでの出展。
- ・東海大学、神奈川大学との共同イベント。

TANOTECH株式会社
(株式会社ラッキーソフト / 株式会社リテック)